

2026

学校法人案内



東京経済大学

東京経済大学の歴史

大倉喜八郎 略歴

- 1837年（天保8年） 9月24日（新暦10月23日）、現在の新潟県新発田市に生まれる。
- 1854年（安政元年） 17歳で江戸に出る。その才を遺憾なく発揮し、商人として成功をおさめる。
- 1873年（明治6年） 大倉組商會を設立し、ヨーロッパをはじめ世界各国との直貿易に進出。わが国における世界貿易の先駆けとなる。その後、東京電燈、帝国ホテルその他数多くの企業の設立に参画し役員に就任する。
- 1900年（明治33年） 大倉商業学校（東京経済大学の前身）を設立。
- 1917年（大正6年） 合名会社大倉組を持株会社とし、大倉商事、大倉土木（現 大成建設）、大倉鉱業を直系3社とするコンツェルン機構を形成した。
- 1928年（昭和3年） 4月22日没 享年92（満90歳）。



大倉喜八郎
1837年（天保8年）
1928年（昭和3年）

1898（明治31）年	大倉喜八郎、商業学校設立趣意書を公表	1998（平成10）年	経営学部に流通マーケティング学科を開設
1900（明治33）年	大倉商業学校開校 9月1日、東京・赤坂葵町に開校	1999（平成11）年	大学院コミュニケーション学研究科修士課程開設 2001年には同博士後期課程を開設
1919（大正8）年	高等商業学校への昇格、認可	2000（平成12）年	創立100周年 現代法学部開設
1944（昭和19）年	大倉経済専門学校と改称	2002（平成14）年	経済学部に国際経済学科を開設 4学部6学科体制に
1946（昭和21）年	赤坂葵町から国分寺へ移転	2004（平成16）年	大学院現代法学研究科修士課程開設 4研究科体制に
1949（昭和24）年	大学へ昇格 東京経済大学（経済学部経済学科・商学科、昼夜二部制）を開学	2007（平成19）年	TKUチャレンジシステム スタート 大学院4研究科で、日本初のシニア大学院生受け入れ
1950（昭和25）年	短期大学部を開設	2014（平成26）年	新図書館オープン 旧図書館は「大倉喜八郎 進一層館（Forward Hall）」としてリニューアル
1964（昭和39）年	経営学部の開設 経済学部商学科を発展改組し、経営学部を開設	2017（平成29）年	キャリアデザインプログラム導入
1970（昭和45）年	大学院開設 経済学研究科修士課程を開設。1976年には同博士後期課程、1984年には経営学研究科修士課程、1986年には同博士後期課程を開設	2022（令和4）年	コミュニケーション学部コミュニケーション学科を 発展改組 コミュニケーション学科がメディア社会学科へ名称変更 国際コミュニケーション学科を開設 4学部7学科体制に
1985（昭和60）年	武蔵村山キャンパスに校舎、体育館などを新設	2025（令和7）年	創立125周年
1995（平成7）年	日本初のコミュニケーション学部開設 TAC（多摩アカデミックコンソーシアム）結成		

ご挨拶



学校法人東京経済大学
理事長

八木 茂樹

明治・大正・昭和の激動の時代に一代で大倉財閥を築き上げた大倉喜八郎により、1900年（明治33年）赤坂葵町に設立された大倉商業学校。大倉翁が開校より学生に語り続けた一貫した考えは、商業・経済・金融に精通した人材の育成と語学などの実学教育の重要性です。すなわち、①国際性の涵養、②挑戦し続ける姿勢である「進一層」、そして③責任と信用の大切さであり、この考えこそが校風の核心をなしています。

その後、1919年（大正8年）の大倉高等商業学校への昇格、1949年（昭和24年）の学制改革に伴う新制大学「東京経済大学」のスタートを経て、今日、4学部7学科1プログラムと4研究科を擁する文系総合大学へと発展して参りました。

東京経済大学は、1900年に大倉喜八郎氏が創設した大倉商業学校を起源とし、歴史と伝統を刻んでまいりました。

本学は現在、経済学部・経営学部・コミュニケーション学部・現代法学部の四学部を擁する「社会科学の総合大学」として、多角的な視点から社会を捉える教育を展開しています。ここでいう「総合」とは、知識を単に並列的に集積することではなく、異なる視座を架橋し、理論と実証の往還を通じて現実社会の本質に迫る知的営為にほかなりません。社会に内在する諸問題は単一の視座で解明し得るものではなく、複数の学問領域を横断する総合的な知の統合が求められます。本学はこの理念のもと、社会の諸課題に対して問題の本質を見抜く洞察

力と、的確な課題解決の方途を提示し得る教育・研究を推進してまいります。

本学の教育の中核をなすのは、「ゼミする東経大」に象徴される少人数制のゼミ教育です。対話的・探究的な学びを通じて専門知識を深め、理論と実践に裏打ちされた課題解決力を備えた人材の育成を目指しています。

今後、大学を取り巻く環境は一層厳しさを増すことが予想されます。かかる時代状況にあっても、本学は建学の精神「進一層」に立脚し、社会科学の総合大学としての使命と責任を深く自覚しながら、社会からの信頼と期待に真に応え得る大学として、さらなる発展を遂げるべく全力を尽くしてまいります。



東京経済大学 学長
小川 英治

東京経済大学の理念

進一層

Forward Forever

責任と信用

Be Honest and
Responsible Citizens

建学の理念である「進一層」の気概を持ち、「責任と信用」を重んじ、実践的な知力を身につけてグローバル社会で活躍する人材の育成をはかる。専門学術の真摯な研究を通じて社会に貢献する。120年を超えた伝統と経験を踏まえ、時代と社会の要請に積極的に応えて絶えざる自己改革を推進し、地域と社会に開かれた大学を目指す。

学校法人 東京経済大学第3次中期計画 TKUビジョン2030「ひらかれた学びで、社会を動かす」

- 重点目標1.「現代的なニーズに応える教育プログラムの展開」
重点目標2.「教育研究の社会への還元と社会連携の推進」

教学

学生支援

施設/設備/
環境

入試/広報

人事/組織/
大学運営

財務

第3次中期計画（2026-2030）アクションプラン

経済学部

経済学科
国際経済学科

経済学科は、財政や金融、労働や社会保障、環境やコミュニティなど、日々の暮らしに深く関わる分野を経済学の観点から学びます。世の中の多岐にわたる経済・社会問題を、理論的、歴史的に理解し、実証的に分析できる能力を養成します。

国際経済学科は、欧米諸国や成長著しいアジアの経済を深く学ぶとともに、国際貿易、国際金融、開発協力など日本と世界との深いつながりを経済学の観点から学びます。国際社会の多様性を深く理解し、グローバル社会で活躍する人材を育成します。



経営学部

経営学科
流通マーケティング学科

経営学科は、「現代経営」「経営情報」「現代会計」「ファイナンス」の4コースを設置しています。各コースとも、それぞれのテーマに関する専門知識、および論理的思考能力を習得するとともに、実社会における経営や組織運営の場を想定した知識の応用力、意思決定力、リーダーシップを養成します。

流通マーケティング学科は、今はない市場をつくり出し、顧客や取引先、社会との良好な関係を構築するため、流通とマーケティングに関する専門知識と技術を習得します。流通論やマーケティング論の理解に加え、企業の具体的事例を研究対象とするケース・メソッドで、実践的な問題解決の力を養います。



コミュニケーション学部

メディア社会学科
国際コミュニケーション学科

メディア社会学科では、マスメディアやソーシャルメディアなど、個々のメディアの特性を踏まえたリテラシーの向上をめざします。講義科目とワークショップ科目を連動させ、表現力を鍛え、メディアテクノロジーを使いこなす力を養います。さらに「メディア×国際」の専門性を掛け合わせた学びを展開。メディアリテラシーを活用し、国際的な視野から考え、行動できる人材を育てます。

国際コミュニケーション学科では、グローバル化が進む現代社会を、ヒト・モノ・コトが国境を越えて移動する「移動／モビリティ」の観点から考察します。異文化体験や語学科目等を通じて、異文化に柔軟に対応する力と、コミュニケーション手段としての英語力を養成。学科を横断しながら、国際とメディアの専門性を深め、国際的な視野と多様性への理解を基盤に、メディアを活用できる人材を育成します。



現代法学部

現代法学科

4年間を通じて少人数授業（15～20人程度）を開設し、学生と教員、学生相互がそれぞれの問題意識や理解度を確認しながら学びを深めていきます。2年次以降は6つのコースのいずれかに所属し、知識の習得と考察を重ねます。現実の社会問題を解決するための法的アプローチという視点を重視し、同時に政策のあり方について考えていきます。また、法律の知識を生かした職業に就きたい学生や、国家公務員・地方公務員をめざす学生をサポートする取り組みも行っています。



キャリアデザインプログラム

キャリアデザインプログラム1年次から4年次に開講される少人数制の「キャリアデザイン・ワークショップ」により自分の適性を探り、長期的な目線で人生をデザインする力や、主体的に考え行動する力を段階的に養います。併せて1年次に4学部の入門科目を学んだうえで、2年次以降は選択した学部所属し、社会科学の専門的な知識を習得します。また、「学部横断履修科目」として他学部の科目も受講し、めざすキャリアや目的に応じて学びの世界を広げることが可能です。



大学院

4学部を基礎に4研究科を設けており、日本人学生、留学生、シニア大学院生など、多様な背景を持つ大学院生が共に研究しています。

経済学研究科では、国内外経済の諸問題を客観的に分析する視野と学識を帯びた研究者を育成します。

経営学研究科では、企業社会の本質を捉えて分析し、実践的な解決を探究する研究と教育で、企業社会の未来を切り拓く企業人を養成します。

コミュニケーション学研究科では、既存の学問体系を取り入れながら、コミュニケーション学の諸相を解明するスキルを身につけた研究者を育成しています。

現代法学研究科では、現代社会の主要な諸問題を法学的見地から分析研究し、法治社会が求める人材を育成します。



学生数

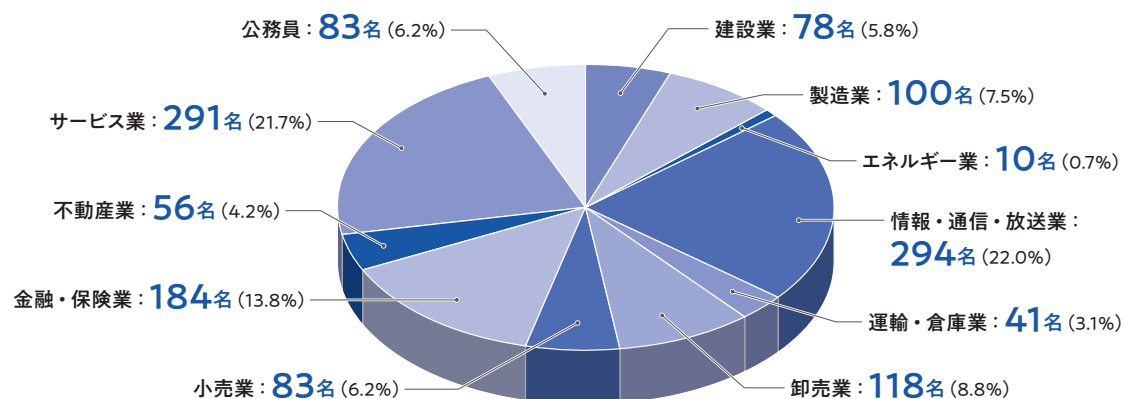
■学部等計 6,799名

■大学院計 61名（5名）※（ ）内は研究生で内数

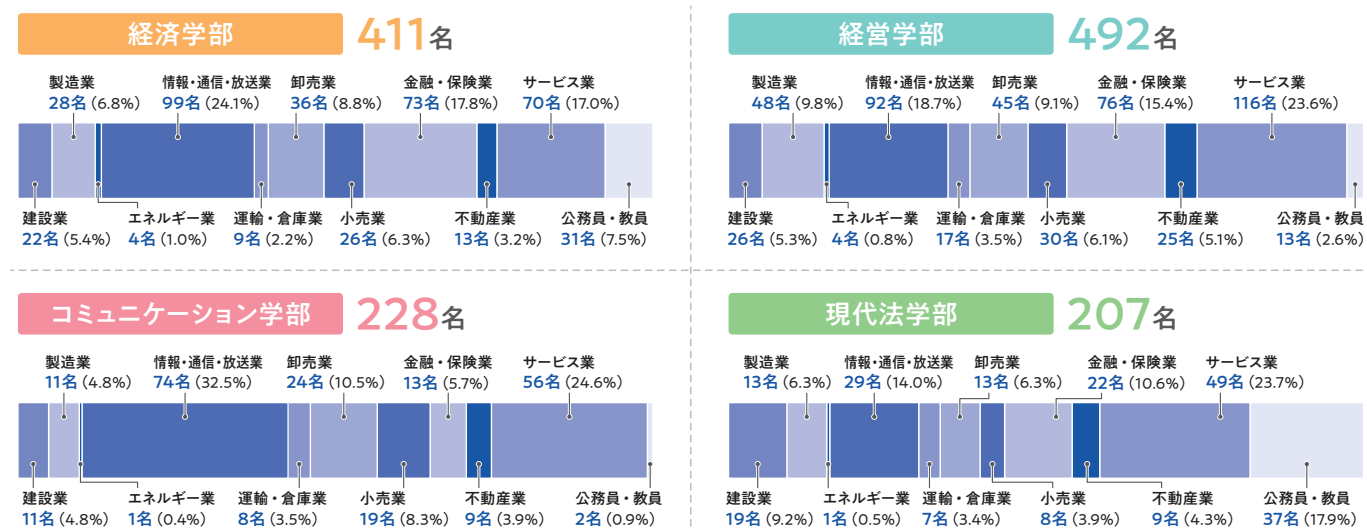
2026年5月1日現在

就職データ等

大学全体・業界別就職実績（2026.3末現在）

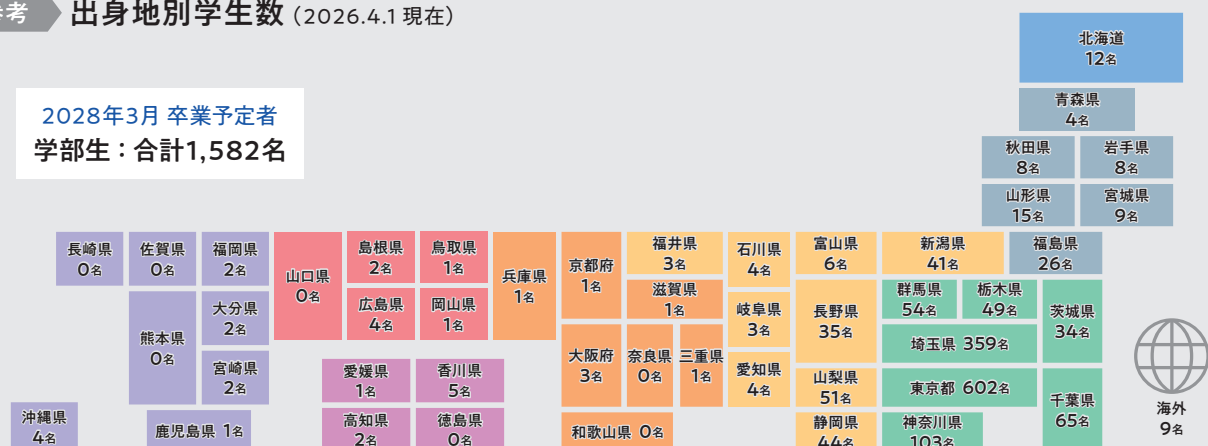


学部別・業界別就職実績（2026.3末現在）



ご参考 出身地別学生数（2026.4.1現在）

2028年3月 卒業予定者
学部生：合計1,582名



キャンパス

国分寺キャンパス（校地面積：59,131.00㎡）

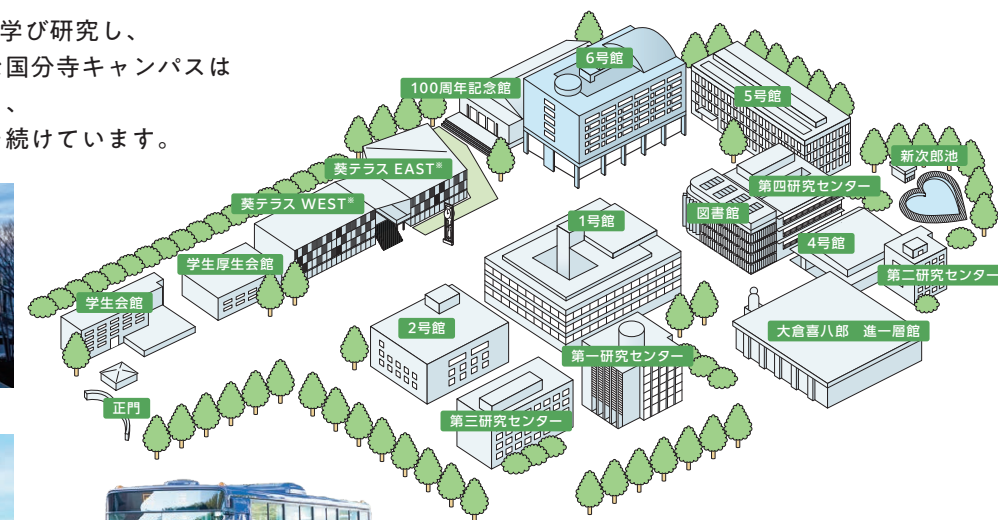
全学部の学生が4年間、ともに学び研究し、サークル活動を楽しむ緑豊かな国分寺キャンパスは武蔵野の生態系を保護・再生し、環境との共生をテーマに進化を続けています。



図書館



葵テラスEAST

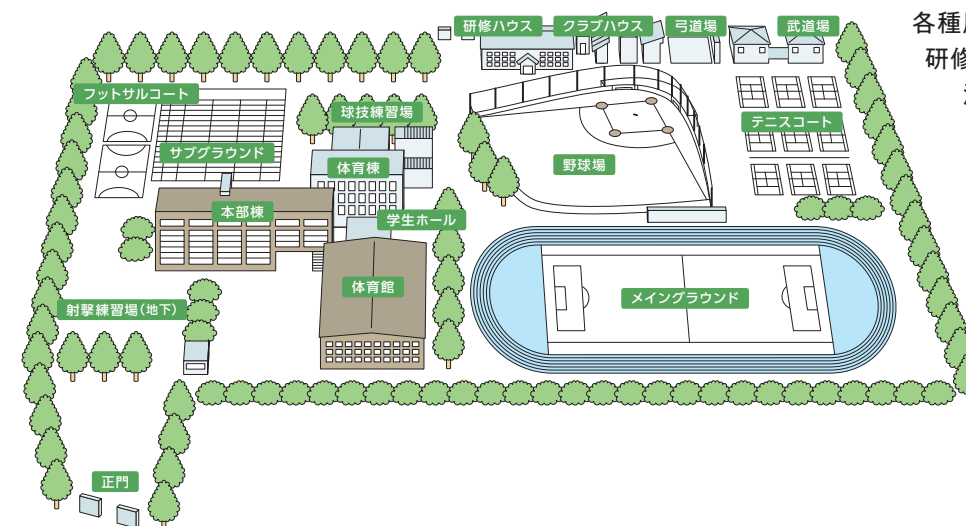


※葵テラスEAST：2026年9月オープン、葵テラスWEST：2028年9月オープン



国分寺と武蔵村山をつなぐスクールバス

武蔵村山キャンパス（校地面積：79,541.05㎡）



各種屋外競技場や体育館、武道場のほか、研修ハウスも備え、体育会系サークルの活動やゼミ合宿に利用されています。



メイングラウンド



研修ハウス

学生寮



国際交流会館（男子寮）
東京経済大学のある国分寺市に隣接する小平市にあります。



葵レジデンス（女子寮）
キャンパスまで徒歩10秒という立地で、安心のセキュリティを完備しています。

RAプログラム

学生寮では、寮生の学生生活の充実を図るため、「RAプログラム」を導入しています。

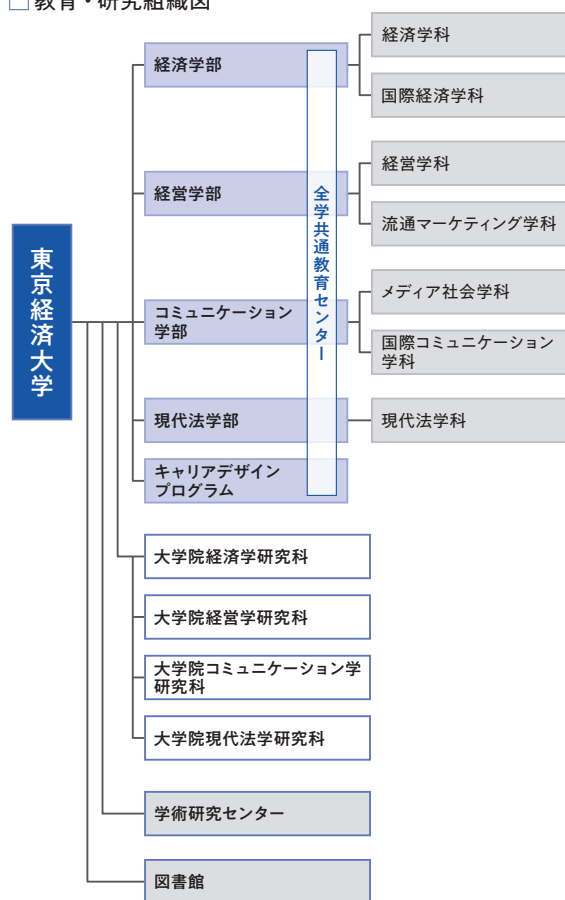
RA（レジデント・アシスタント）とは？

大学や管理人と連携し、新入寮生受入や生活相談、イベント企画運営、ルール遵守の啓蒙、安全・秩序維持を行い、寮生の寮生活の充実と成長を目指す役割を担います。

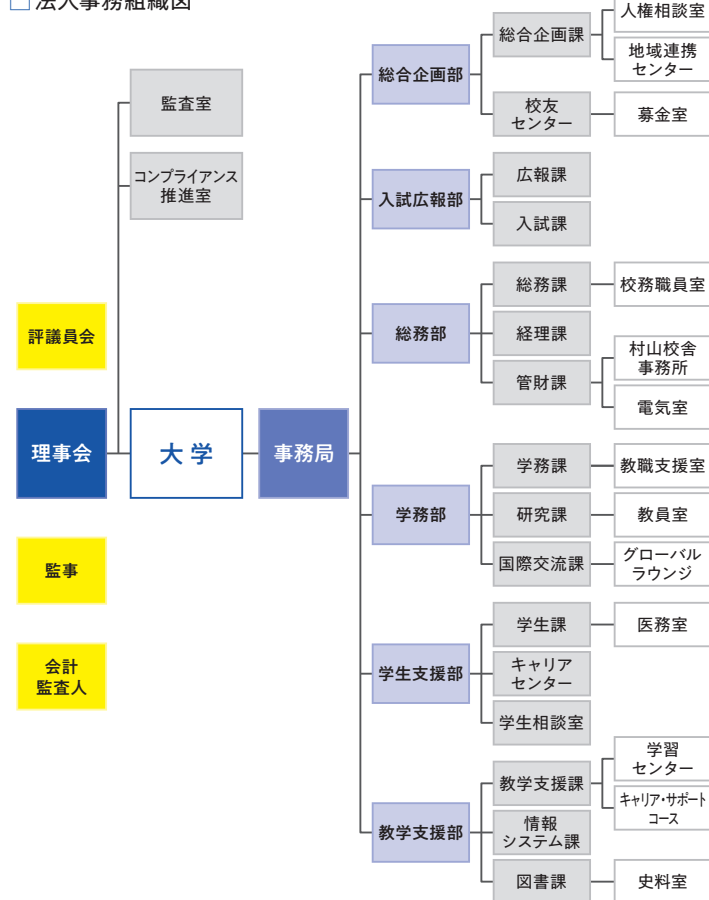
■ 組織図

2026年6月1日現在

□ 教育・研究組織図



□ 法人事務組織図



■ 地図



国分寺キャンパス(校地面積 59,131.00㎡)

〒185-8502 東京都国分寺市南町1-7-34 TEL.042-328-7711(代表)

武蔵村山キャンパス(校地面積 79,541.05㎡)

〒208-0011 東京都武蔵村山市学園5-22-1 TEL.042-561-3711(代表)

本学への募金については
こちらからご覧ください。



情報公開(財務状況等)は
こちらからご覧ください。



2026年10月 東京経済大学
総合企画部総合企画課 発行